

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査における

北九州市立 萩ヶ丘 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能	・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

※全ての実施教科で、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うようにしています。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

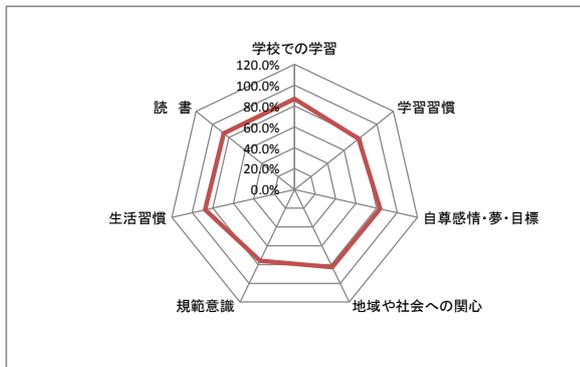
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.1	65	9.0	64
全国	8.9	64	9.3	67

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・どの領域も全国平均正答率を下回っている・ほぼ全ての問題について全国平均無解答率を上回っている・解答の仕方では、選択式より、記述式の正答率が低い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	・漢字を文の中で正しく使うことの正答率が高い。	
	努力が必要な問題	・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことについての正答率が低い。	
算数	全体的な傾向や特徴など	・どの領域も全国平均正答率を下回っている・ほぼ全ての問題について全国平均無解答率を上回っている・解答の仕方では、選択式より、記述式の正答率が低い。特に短答式の正答率が著しく低い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	・図形の領域が、他の領域より正答率が高い。	
	努力が必要な問題	・どの領域も数学的な考え方の正答率が低い。・数と計算の領域が他の領域に比べ著しく正答率が低い。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・学校での学習においては、「総合的な学習の時間」等においてICT等を活用し調べ学習に積極的に取り組んでいる。しかしながら、授業で課題解決に向けて自分で考え自分から取り組むことには課題がある。 ・読書を好むが、読書習慣が身に付いている児童は多くない。 ・学習習慣においては、家庭学習の時間が平日一日当たり1時間以上の児童が、40%しかいないことが課題である。学校のきまりを守っていると答えた児童の割合が低く規範意識を高める必要がある。 ・「自分によいところがある」「将来の夢や目標をもっている」に対して肯定的な回答をした児童が少ないのが課題である。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ・朝の10分間の活動として、音読、計算、読書等取り組む内容を学校全体で統一実施している。特に計算や国語の時間では、基礎学力の定着を図っている。また、音読は全校放送で一斉音読に取り組み、声に出して読むことよさを味わわせている。 ・5校時前に「読書タイム」を設定し、落ち着いた雰囲気の中授業に取り組めるようにするとともに、読書への関心を高めている。 ・課題解決に向けての取組のよさや自分の考えを分かりやすく書いている児童のノートを展示し、学習意欲を高めていこうとしている。 ・日々の活動において目標を設定させ振り返ることを重ね、自分の伸びや課題を見つめたり、他人のよさを感じ取るようにしている。 ・道徳の学習において、「規律の尊重」「希望・努力」等重点的に学ばせたい。 ・「児童に考えをもたせるための手立ての研究」をテーマにして、互いに授業公開をし職員同士が学び合ったり、学力向上推進担当教員と連携し授業に取り組んだりしながら教員の授業力の向上を図っている。 ・5・6年生は、教科担任制により授業の質の向上を図っている。多面的な視点で児童を見取り、学習面だけでなく個々のよさを伸ばす取組を行っている。
--

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区三校で連携し、「スタディー・ウィーク」の取組を年3回実施し、家庭学習の習慣を身に付けようとしている。また、児童の家庭学習ノートを展示し、進んで家庭学習に取り組む態度を養おうとしている。 ・家庭学習の取組について教員の研修を行い、学級懇談会等で保護者へ家庭学習の重要性を啓発している。 ・長期の休みに入る前には、「萩ヶ丘小学校のきまり」を配布し、長期休暇期間中の生活の仕方を共通理解できるようにしている。
--